

リハビリテーション科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	脳卒中患者におけるフレイルの実態調査
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) リハビリテーション医学講座 (職名) 教授 (氏名) 尾川貴洋
研究の対象となる方	2020年9月から2028年8月までにリハビリテーションを実施した脳卒中の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~2029年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>加齢に伴い生理的予備能が低下し、健康障害を生じやすい状態をフレイルといいます。本研究では、脳卒中患者さんを対象に種々のフレイル評価指標を用いて、フレイルの実態調査を行い、フレイルの存在が脳卒中患者さんに与える影響について調査することを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>診療のために実施させていただいた、身体機能検査、血液検査、アンケートの結果などを利用して調査をさせていただきます。尚、利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：体の動きの検査、頭の機能の検査、血液検査、栄養状態、生活状況や精神症状に関するアンケート等を診療録より取得</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2029年2月28

は提供を希望しない 場合	日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者：(職名) 理学療法士 (氏名) 田中 拓哉 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900)